

「くじ引きの確率問題」生徒実習用ワークシート

()年()組()番氏名()

課題 A, B, Cの3人が3本(, ,)の3本のくじを引くことにする。数学的にはどの順番でくじを引いても、それぞれ一人ひとりの当たる確率は3分の1であることがわかっている。そのことをモデル化とシミュレーションによって確かめてみよう。【ここでは、のくじが当たりとする。】

《モデル化》

問1 A, B, Cの3人が、くじを引く引き方をすべて書き表せ。(次の表を完成させよ)

A						
B						
C						
パターン	1	2	3	4	5	6

表1

この6通りの、くじ引きの結果をサイコロの目に置き換えてモデル化する。

《サイコロを使用したシミュレーション》

問2 表1より、

サイコロの目が、() , () のとき、Aが当たり。

サイコロの目が、() , () のとき、Bが当たり。

サイコロの目が、() , () のとき、Cが当たり。 となる。

問3 実際にサイコロを振って、A, B, Cそれぞれのくじに当たった回数を調べてみよう。

(次の表を完成させよ。)

	Aさん	Bさん	Cさん
10回			
20回			
50回			
100回			
200回			
500回			
1000回			

表2

表2の結果から、何がわかりましたか？

次回の授業では、この実験を表計算ソフトを利用して行ってみましょう。